



コミュニティ・スクール
天支CS

2020.4

31号

はーとふる通信

地域とともにある学校づくり 5年目スタート！

本校はコミュニティ・スクール(CS)として、地域とともにある学校づくりの実現をめざし、学校・地域・家庭・福祉が連携・協働し、子どもたちの教育活動を支援する仕組みづくりの推進を行っています。本紙、『天支CS はーとふる通信』では、今年度もCSに関する様々な情報や地域とのつながりについてお伝えしていきます。Heartfulの意は、“心のこもったさま”“優しさがあふれているさま”です。通信名『はーとふる』には、天草の地で暮らし、学び、生きていく子どもたちを支え合う学校・地域・家庭の連携を深め、愛とやさしさあふれる人と人とのつながりを大切に、共生社会の実現への願いが込められています。保護者の皆様、そして本校の教育活動への御理解と温かい御支援をいただいている本町の皆様、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



本校には
3つのサポート
コミュニティが
あります！



学校教育目標

自分らしく、持てる力を精一杯発揮し、人と関わりながら、
主体的に学び、生活する児童生徒の育成

あいサポート

まなびサポート

くらしサポート

学校運営協議会

本校の実態より ○よいところ ▲課題 これらの実態を踏まえて、3つのサポートコミュニティで今年度も取り組んでいます。

【児童生徒】

- 学校が好き！純朴、真面目 ○仲のよさ ○児童生徒増 活気
- 交流及び共同学習でのかかわり ○学びにつながる興味関心の高さ
- 防災教育の充実 ○検定(漢字・清掃技能)への意欲
- 学校行事への参画(高) ○学習をととした地域の方々とのかかわり
- 自力通学生の増加(中・高)
- 地域貢献(太鼓・クリーンカンパニー・総合サービス班)
- ▲居住地でのつながり ▲余暇活動の少なさ ▲生活経験の差
- ▲障がいの多様化、実態の差
- ▲一般就労の難しさ(イメージ不足、理解不足)

【学校】

- 活気 ○チーム力 ○助け合い ○話しやすく、相談しやすい雰囲気
- 職員研修での活発な意見交換 ○全職員でのカリキュラム・マネジメント
- 天草地域のセンター的機能 ○防災に関する取組 ○情報発信
- 地域人材・資源の活用UP ○市町の事業活用 ○地域行事への参加
- ▲施設・設備・予算面(老朽化、職員トイレ、教室の狭隘化、駐車場等)
- ▲土砂災害危険区域 ▲働き方改革 時間外勤務の多さ、事務処理の量
- ▲ICT機器の充実と校内ネットワークの整備
- ▲高等部移転に向けた検討(スケジュール・内容)

【家庭】

- 行事への参加・協力 ○防災リュックの準備、引き渡し訓練への協力
- 児童生徒についての担任との細やかな情報共有
- ▲保護者間のつながり ▲卒業生から学ぶ機会が少な
- ▲PTAの活性化 ▲居住地域でのかかわり希薄(災害時の対応含め)
- ▲様々な家庭環境における生活経験や余暇活動の差
- ▲学校-関係機関との連携 家庭によって連携に差がある
- ▲小中学部保護者の進路への意識(研修への参加の少なさ)

【地域】

- 天支サポーターや地域施設の方々の協力、地域とのつながりUP
- 本町の地域性(地域で子どもを育てる) ○自然豊か
- 地域の学校や施設との交流及び共同学習(本町小学校、本渡中学校特別支援学級、天草拓心高校、グループホームくすのき) ○避難訓練への協力
- ▲特別支援教育の専門性への期待 ▲通学距離が遠く広範囲
- ▲バス路線の減少(最寄りバス停まで3km、徒歩 30分)
- ▲徒歩圏内のお店や施設の少なさ ▲児童生徒が家庭以外で過ごす場(福祉資源)の少なさ ▲卒業後の進路選択肢や社会参加の場の少なさ

5月の主な予定

※新型コロナウイルス感染防止のため、**運動会は中止**となりました。
その他の行事も、子どもたちの安全・安心な学校生活の視点で、
開催の有無や実施方法、実施時期について検討を行っています。

